

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	キッズボンドEX 市原		
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日		～ 令和6年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの『自立』に向けた「自己肯定感を高めるためには」に目を向け、生きていくうえで欠かせないさまざまな能力を【小さな7つ】【大きな2つ】【魔法の言葉】というキーワードに掲げて、発達支援の5領域（「①健康・生活」「②運動・感覚」「③認知・行動」「④言語・コミュニケーション」「⑤人間関係・社会性」）に当てはめて、支援に当たっている。	「ガイドライン」をよく読み解き、自己肯定感を育むための支援（「小さな7つ」「大きな2つ」「魔法の言葉」）についての内部研修を毎月実施している。	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)として、保護者会の中での研修として取り組んでいく。
2	放課後等デイサービスとの多機能型のため、子供の成長を長く支援できる。	児童発達支援利用時に信頼関係を築くと共に性格や困りごとを把握し、放課後等デイサービスに上がってからもその関係性や情報を活用する。	関係機関との情報共有や地域資源の活用等の取り組みを増やし、支援の輪を広げていく。
3	公式InstagramなどのSNSやお便りを通し、教室でのお子さまの状況をお伝えしている。	文字のみの伝達だけでなく、写真を用いて確認いただけるようにしている。	Instagramでの写真を活用しながら、教室での活動報告を迅速にお伝えする環境を整えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービスとの多機能型のため年齢の幅が広く、同年齢での小集団活動が難しい。	放課後等デイサービスとの多機能型なので、利用児の年齢により成長の度合に開きがある。	それぞれの成長過程に応じて楽しめる活動を工夫し、「できた」「見つけた」「一緒に」「楽しい」と満足感を育めるように支援する。
2			
3			